

科目名	社会的養護		担当教員	水鳥川 洋子		
			担当形態	単独		
テキスト	「新保育ライブラリ社会的養護・新版」北大路書房	単位数 授業形態	2単位	講義	開講時期	後期
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの社会的養護をめぐる現状（特に虐待問題）を知り、保育所、学校、施設の新たな役割を認識し書き表せる。</li> <li>・社会的養護の制度・実施体系及び歴史を学び、基礎的な知識を身につけ説明できる。</li> <li>・児童福祉施設の現状と課題を理解し、これからの児童養護のあり方について自ら考えることができる。</li> </ul> <p><b>■授業の概要</b></p> <p>社会的養護の理念は「子どもの最善の利益のために、社会全体で子どもを育む」ことであるが、そのことの意味、そして、そこでの保育士の役割を実感的に理解するために、現代の子育てをめぐる社会状況や児童福祉施設の現状を学び、今後の社会的養護及び保育士のあり方を考えていく。</p> <p><b>■授業計画</b></p> <p>第1回 社会的養護とは何か・・・社会的養護の理念と体系  第2回 児童虐待の現状  第3回 子育てをめぐる社会状況  第4回 社会的養護の歴史① 古代から明治期まで  第5回 社会的養護の歴史② 明治期から現代まで  第6回 児童相談所の役割  第7回 養育環境に問題がある児童の施設養護①（乳児院）  第8回 養育環境に問題がある児童の施設養護②（児童養護施設 母子生活支援施設）  第9回 情緒・行動面に問題がある児童の施設養護（児童自立支援施設、情緒障害児短期治療施設）  第10回 障害のある児童の施設養護①（福祉型障害児入所施設）  第11回 障害のある児童の施設養護②（医療型障害児入所施設）  第12回 家庭養育を支援する施設（児童発達支援センター、児童家庭支援センター）  第13回 家庭的養護（里親、ファミリーホーム、自立援助ホーム）  第14回 子どもの権利擁護と被措置児等虐待の防止  第15回 社会的養護のまとめ、期末試験</p> <p><b>■準備学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待等の社会問題や子育てに関連する報道に関心を持ち、理解しておくこと。</li> <li>・次回の授業内容について、テキストの該当箇所を読んでおくこと。</li> <li>・毎回の授業のプリントを見直し、自分なりに説明できるようにすること。</li> </ul> <p><b>■評価方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み（毎回の感想文） — 10%</li> <li>・期末試験 — 90%</li> </ul>						
参考文献	授業中に適宜示す。		特記事項	特になし。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修		幼			
			保	保育の本質・目的に関する科目		